

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 元年 10月 5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492500131		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい八本松		
所在地	広島県東広島市八本松東5丁目8番34号 (電話) 082-427-3339		
自己評価作成日	令和元年9月11日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492500131-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492500131-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年10月1日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>昨年度より設けているHLC制度又、OJT制度を継続して行っている。ご利用者一人ひとりに変化があった際に対応を行っていること、変化がなくても各担当者が毎月見直しを行い、その方に合ったケアを統一して行っている。</p> <p>毎月、行事も行っており、ご利用者に非日常の生活をして頂いている。又、地域住民の方を招いて行事を行うこともあり、地域住民の方との交流も定着しつつある。</p> <p>長年ご利用頂いている方もいらっしゃることもあるが、ご家族との関係も良好に思える。何気ない会話はもちろんだが、要望等がある際の意見等も、気軽に大半の方とお互いお話ができており、穏やかな雰囲気を保っていると感じる。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所の方針の1つとして、HLC制度（幸せ計画作り）を活用し、管理者が職員の意見を聞く機会を設け、言葉づかいや介助法にも工夫が見られ、職員全員が共有し、ケアの統一化を図り支援している。行事においても、地域住民、ボランティアの参加など地域資源の活用により、地域交流の場が増えてきている。医療面に関しては、医師、訪問看護師など連携体制が整い、本人・家族の安心に繋げている。また、広々とした居室は、使い慣れた馴染みの物が持ち込まれ、利用者一人ひとりの個性が活かされ、落ち着ける雰囲気が漂い、寛げるよう我が家を感じられる工夫が見られる。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	当法人の理念のもと、当事業所の理念・方針をたてており、以前から取り組んでいる理念を引き続き取り入れている。各職員は理念に沿った個人目標を毎年たて、実践できるよう努め、目標に対しての面談も適宜行っている。	法人の理念、方針の下、事業所理念、方針を事業所内に掲示、職員会議の時、復唱する事で認識を深めている。又、年度始めに理念に沿った個人目標を立て、日々のケアに笑顔で関わられるよう実践している。年2回管理者と個人面談、評価・検討・見直しを行う事で、次へのサービス向上に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	以前より続いている関係を継続しており、地域の保育所や、子供会、ボランティアの方々にもご協力頂き、行事に参加頂いている。自治会にも引き続き加入しており、地域清掃に参加している。ボランティアの方を受け入れし、ご利用者ともお話をさせて頂く機会を作れている。地域住民の方に、地域の行事の紹介をして頂き、参加することもできた。	運営推進会議参加者からの情報（展示会など）歩いていける距離の会場に出かけたり、保育園児の来訪、ボランティアの受け入れもしている。秋祭りには子供会の神輿が訪れ、楽しみの一つになり笑顔が見られる。又、自治会に入り町内清掃に参加、日頃から地域住民との交流がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在実践している部分は少ないと言えるが、地域の方と交流を持った際に、認知症のお話や、当事業所にどんな方が入居できて又、どんな生活を送っているか等、お話をする機会は持てた。今後も積極的に交流を持ち、気軽にご相談頂ける環境を作りたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	当事業所でのサービス内容等の報告を行い、それを元に、参加者の方々と話し合いをさせて頂いており、他事業所の例も挙げて頂きながら助言も頂いている。昨年のご家族の方の参加は難しかったが、今年8月より参加頂けており、意見も伺うことができています。	運営推進会議は定期的開催され、行政・地域包括支援センター職員、地域住民代表、民生委員、家族代表の参加が得られ実施報告などある。民生委員から地域の催しの案内や、質疑応答の中に、行政・地域包括職員より感染症、災害時の対応など助言があり、意見が活かせるよう努めている。不参加家族には議事録（写真付）を送付している。	運営推進会議は定期的開催されていますが、家族や地域住民により多く参加して頂く為に、家族会・行事などと同日に開催する事や議題を決める事で参加しやすくなり、出た意見や要望を事業所のサービスの向上に活用する事を期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を楽しく取組んでいる。	定期的に市の窓口に出向いたり、電話や書類での連絡相談、報告をさせて頂きながら、協力体制の向上に努めている。又、書類提出等、スムーズに行えている。	書類など不明な点について、電話や窓口に出向き、相談・助言など頂けるよう協力体制に努めている。運営推進会議参加の地域包括支援センター職員からレクリエーションについての助言など、日々のケアに役立つアドバイスがあり、実践に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束等の適正化の為、指針を立て、各職員が内容を把握し、身体拘束予防に努めている。2か月に1回委員会を開き、その内容を運営推進会議の中でお話をさせて頂き、外部の方からの意見も反映している。	身体拘束禁止委員会を2か月に1回開催している。法人や外部研修に参加し、事業所に持ち帰り、職員間で協議し知識を深めている。事例をあげながら検討する事で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。夕方帰宅願望の利用者に落ち着いて頂けるよう、声掛けにも工夫されている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	上記同様、委員会を開いており、委員会ではささやかな言動にも留意するよう議題にも挙げ、虐待の防止に努めている。又、ご家族とも何気ない話から、相談を受けることもある。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活自立支援事業、成年後見制度について知識が十分でないところもあるが、個々のケースに応じて必要があれば、管理者を中心とし、検討を行っている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に説明の場を設け、質問があればお答えをし、同意をその都度得ている。その場で返答が難しいものであれば、他部署を連絡を取り合っ、迅速にお答えできるよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回、家族会を設け、ご家族と意見交換をする場を設けている。又、ご家族の方が面会に来られた際も積極的に声をかけ、お話をさせて頂いており、ご利用者に対してこうして欲しい等、ご意見を頂くこともある。ご意見箱も玄関に設置しており、直接言いづらい意見も頂けるようにしている。	担当制にする事で家族の意見が聴きやすくなり、年2回の家族会も意見交換の場になっている。日頃の面会時に出来るだけ意見を聴くように職員の方から声掛けをしている。出た貴重な意見を申し送りノートに残し、職員間で共有し反映に繋がるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	主にミーティング等にて意見を聞く機会が多いが、通常の勤務を行いながらの意見交換も行っている。迅速に対応できる案件はその場で行うことも多いが、難しい案件に関しては、アンケートを配布し、職員全員の意見を取り入れ、運営に反映するよう努めている。	通常の業務時や職員会議の中で意見を聴いている。個人面談、アンケート用紙を配布聴取する事で意見が出しやすくなり、又、コミュニケーションの取り方、介助方法の改善に向けての機会になっている。褥瘡が見られる利用者には、栄養ゼリーを摂取頂いた事により体重が増え、褥瘡が改善された事例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に1回、各職員が自ら目指す目標を立て、その目標に沿って業務を遂行して頂いている。その目標の成果や実績を達成度で評価し、各個人の評価を決定している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	日頃の業務の遂行状況を確認し、職員一人ひとりを評価している。補足が必要な業務や、伸ばしてもらいたいものに関して、必要に応じて各職員と話し合いながら、研修に参加して頂く体制を取っている。又、力量を把握したうえで、業務の割り振りも行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の他の事業所と関わりを持てる会議や、研修等で情報交換を行いながら交流する場を作っている。又、法人内の行事にも参加できるようにであれば参加をし、交流を図っている。他法人については電話でのやりとりが多いが、同業者との空室状況の確認や、パンフレットの配布も行っている。		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時や面会時には、ケアマネや、ご家族より詳しい情報を頂き、各ご利用者ごとに担当を決め、ご本人との関わりを深くもち、全ての生活を共にすることで、信頼関係を深めている。		
----	--	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>管理者又、担当者を中心に窓口となり、ご家族が少しでも困っていること、不安に思っていることを解消して頂けるよう、契約時や面会時にご家族の声を聞く姿勢を適宜取っている。何気ない話も大切にし、お互い話やすい環境になるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>契約前の事前面談等を含め、ご本人や、ご家族が困っていることからお話を伺い、必要をされていることを見極めるようにしている。又、従前のご利用サービスの介護事業所からも情報収集を行っており、その対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>HLC制度を活用し、ご本人がしたいことを実現できるように支援をしている。一緒にお菓子作りをしたり、洗濯物をたたんだり、掃除等を行い、ご利用者ができることを一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>行事等で、ご家族の方に参加頂けるようであれば参加頂き、ご本人とご家族の関係が維持できるよう機会を設けている。又、面会の際には、居室にてゆっくり過ごして頂いており、時間を大切に使う頂いている。普段の様子についても面会時に報告をしたり、写真と共に毎月お手紙にてお知らせをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>一部面会の方の制限もあるが、友人の方の面会もお受けしており、ご家族の方はもちろん、馴染の方もすぐに入浴できる環境にはある。外泊もまだ少ない状況ではあるが、ご家族の方にもお声がけをし、お盆やお正月に外泊されるご利用者もいた。</p>	<p>民生委員の展示会（絵、写真など）の紹介で利用者は鑑賞で外出したり、近隣のスーパーに買い物に出掛けたり、自宅近くの桜見物や紅葉狩りと家族の協力を得ながら、馴染みの人や場との関係が途切れないよう支援されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	職員が間に入って馴染みの関係づくりを維持できるよう支援に努めている。レクリエーションやアクティビティの際にも席を移動してご利用者全員が交流する場を設けている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設へ移られたご利用者の施設の職員からお話を伺う機会もある。又、ご利用が終了されたご家族とお話をさせて頂く機会もあり、（プライベートでもお声をかけて頂いたこともある）関係性を維持できるよう努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者一人ひとりにライフストーリーシートを作成し、思いや暮らし方の希望、意向を見出し、その希望が実現できるよう努めている。	入居の際、利用者の生活歴「ライフストーリーシート」を活用し、習慣や好みの情報を把握共有し統一を図っている。毎月モニタリングを行う事で、新たな情報も書き加え、利用者の思いを大切に実現出来るよう努めている。把握困難な利用者に家族からヒントを頂き好物が「鰻」だと知る事ができ、提供ができて喜ばれた。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	上記同様、ライフストーリーシートの作成により、生活歴の把握をし、ケアに繋げてくれるよう努めており、定期的な書式の更新と、アセスメントの見直しを行い、ご本人の小さな変化も見逃さないよう観察、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の申し送りや、毎月のモニタリング等を通して、現状の把握に努めている。各担当者が主となり、アセスメントの見直しを行い、適切なケアを提供できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月のモニタリングや、介護手順書の更新により、現状を把握し、状態の変化を見逃さず、担当の職員を主とし、原案を考え、定期的な会議を通じて、計画作成担当者が中心となり、計画の作成を行っている。</p>	<p>利用者ごとに担当職員を決め、情報収集し、本人・家族の意見や要望を汲み取り、介護計画書原案を計画担当者が作成し、本人・家族に説明し同意署名をもらっている。又、担当職員が毎月モニタリングを行い、半年ごとに介護計画を見直し、現状に即した介護計画書を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活状況記録の裏面に、個別記録を出来事の項目に分けてできるだけ詳しく記録をし、モニタリングやケアプランの作成に反映できるようにしている。ケアプランの内容もしっかり実践できるようにサービス内容を記載し、実行しているか確認できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご利用者の日々の状態により、ご本人のニーズが実現可能ならできるだけ早期に対応するようにしている。日々の業務内容に応じて、業務内容時間の変更をする等、柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>個別の地域資源もできるだけ活用させて頂くよう心がけている。地域の祭りへの参加や、保育所との交流又、ボランティアの受け入れも行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体の下山記念クリニックと連携を取っている。定期的な往診を中心に医師からの診察も受けている。必要があれば、クリニックに受診をしている。</p>	<p>利用者・家族の要望でかかりつけ医を決めている。専門医以外は協力医がかかりつけ医である。専門医は家族対応で受診されている。定期的（月2回）の往診と訪問看護師の週2回の往診により連携が保たれ、医療面で利用者・家族にとって安心である。歯科医師の往診や歯科衛生士の週3回の口腔ケアが行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護師に往診を含め、週1回訪問頂いており、ご利用者に対して変わったこと、困ったことに関して相談させて頂いている。又、状況によって電話にて相談させて頂くこともある。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は職員が付き添い、細かい情報交換を行っている。入院中の適宜の面会や、医療連携室のソーシャルワーカーを通して現状の把握や、退院後のケアについて病院関係者やご家族と連絡をとるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>医師、看護師、ご家族、職員でカンファレンスを開き、ご家族へ説明や、情報の共有、今後の方針等話し合い、ご本人に合わせた苦痛の少ない、本人らしい生活が最後までできるように支援している。適宜のカンファレンスにて職員同士も話し合い、その時々によって柔軟な対応ができるよう心がけている。</p>	<p>入居の際「重度化した時の指針」について説明、署名を頂いている。事業所も看取りを行う方針で、数例行ってきた。職員に看取りの研修を行い、マニュアル化し職員全員が共有周知している。看取り時には家族、医師、看護師、職員とカンファレンスを開き指針に沿って、事業所として最善の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応について具体的な対応の指導を定期的に行っている。又、医療職にも指導を頂くこともある。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に消防訓練を行い、災害時の対応を学ぶようにしている。地域の代表者や近隣住民にいざという時に協力をお願いできる体制をとっている。</p>	<p>年2回、消防署署員の指導の下、昼夜を想定し、消火器の使用指導など行っている。運営推進会議参加の地域住民代表に緊急時連絡を入れると、近隣住民の協力が得られる体制も整っている。ハザードマップの該当地域ではないが、マップを掲示している。備蓄品も用意がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者一人ひとりの尊厳を第一とし、信頼関係を深められるよう努めている。誇りを損ねないよう、名字で呼びし、言葉遣いに留意している。各居室等の入室時にはロック、声掛けを基本とし、入室するよう心がけている。個人情報の保護についても留意し、情報があるものに関してはロッカー等、人目につかないところに保管している。	外部の方を招いて接遇研修などで認識を深め、人権を尊重し、利用者の立場に立ち、名前の呼び方、言葉づかいに誇りとプライバシーを損なう事のないよう言葉かけ、声掛けにも配慮している。個人情報の取り扱いに関しても人目に付かないよう保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	各ご利用者の担当が主とし、馴染みの関係を持ち、ご本人からの思いを聞き出せるよう努めている。意思表示が難しい方もいらっしゃるので、担当者をはじめとした職員が気付き、一早く意思をくみ取れるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者一人ひとりに対し、排泄時の時間を把握し、声かけ、誘導を行っている。支援もその方のペースに合わせた対応ができるよう努めている。ご利用者の体調、状態、意志等により食事の時間等を変更する場合もあるが、できるだけ共同生活を送って頂き、ご利用者同士の関係づくりの為、可能な限り、一緒に食事や、レクにも参加頂くようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自宅から持参頂いた衣類の中からご本人にあった衣類を着用して頂いている。又、2か月に1回は、訪問美容を依頼しており、定期的に訪問して頂くようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事が難しい方は少しでも召し上がって頂くよう好みの物を提供したり、食事形態に留意している。又、後片付けもご利用者と一緒に行うこともある。	三食、宅配業者で調理された献立が運ばれ、利用者に合わせて食事形態に留意し、加熱、盛り付けを行っている。利用者の好みの鰻を提供した事もある。年数回のおやつレクや外食に出掛けたり、外出が難しい利用者は庭の花壇の周りで雰囲気を変えて食事するのも喜ばれる。机、椅子、姿勢にも配慮し、誤嚥予防に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事の配達業者から栄養面に関して配慮頂いている。栄養が足りない物に関してこちらで個別に摂取頂いている。食事量、水分量共に、個々に確保できるよう記録にも留意しており、午前と午後で職員が把握できるよう摂取量を記録し、状況を確認できるようにしている。またその方の好きな物や、飲み物も提供するようになっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、洗面台に誘導し、口腔ケアを行っている。ご本人にできないところは職員がお手伝いをさせて頂いている。又、かかりつけ医とも連携を行い、歯科衛生士による定期的な口腔ケアと一人ひとりにあった支援を行い、口腔内の衛生を保てるよう努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>失敗なくトイレで排泄して頂けるよう、排泄パターンを把握し、誘導を行っている。オムツの使用を減らす為、日中はトイレでの排泄を支援させて頂いているご利用者も現在いらっしゃる。</p>	<p>生活状況記録で排泄パターンを把握し、誘導、声掛けにも工夫が見られる。おむつ使用を減らす為、日中はトイレでの排泄支援をしている。ファンレストテーブルが設置されていて、便座に座って力みやすい姿勢がとれ、自然排便が出来るように工夫されている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>飲食物の工夫や、レクリエーションでの腹圧がかかる運動、マッサージを取り入れ、できるだけ薬に頼らない排泄を支援している。排泄が難しい方等には、医療職に相談をし、一人ひとりにあった対応をしている。水分量にも配慮をし、便秘の原因にならないよう努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回以上の入浴を基本としており、ご利用者の体調や、外出、外泊等の日時にも配慮を行い、定期的に入浴して頂けるよう努めている。入浴方法もご利用者一人ひとりにあった支援を行っている。</p>	<p>基本、週2回の入浴である。利用者の体調を踏まえ、柔軟な対応がなされている。法人内研修で介助力を高め、一人ひとりに合った入浴法で、入浴を楽しむ支援をしている。入浴前の浴室内の温度や、入浴後のクリーム塗布で保湿するなど細かい部分にも配慮が見られる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者が安心して眠れる環 境作りとして、落ち着ける（ラ ベンダーの香り等の取り入れ） 又、静かな環境作りに配慮して いる。場合によっては、その 方の生活習慣に合わせリビング のソファで休んで頂くこともある。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めて いる。</p>	<p>意思からの説明や、薬剤師から の意見又、処方箋を通じて情報 を収集し、服薬に伴う変化、異 変は看護師とも情報交換をし、 適切な支援に繋がるよう努めて いる。薬を処方頂く際、注意す る点や、不明な点は再度薬剤師 に確認をとるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ライフストーリーシートでの生 活歴を定期的に見直し、ご利 用者の状態に合った役割や、楽 しみごとを実践できるよう、ご 家族に頂いた情報を活かして 判断をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。</p>	<p>ご利用者のその日の体調にも 配慮し、職員が付き添い、外 気浴を含め、散歩や買い物に も出かけている。ご家族の要 望も取り入れ、定期的に外出 をして頂くよう努めている。</p>	<p>近隣の散歩や買い物に出かけ ている。家族の協力を得て、 外食など出かけた時、桜見物 、紅葉狩りなど季節行事とし て外出支援している。又、事 業所内から外に出て、花壇の 花を眺めるのも楽しみの一つ となるよう努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。</p>	<p>基本的にご本人持ちの金銭の 管理は行っていない。立替で ご本人がお使いになれる物 を職員が買い物をし、支援を 行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	主にご家族、友人の方からお電話を頂き、お繋ぎをしてお話をされることがある。手紙を書くことが難しいこともあるが、面会に来られ、お話をされている為、ご本人や面会に来られた方も満足をされている様子。手紙を書くケースがある場合は、職員が代筆をし、ご家族へお渡しをする場合もある。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングはシンプルに、且つ季節や、行事にあった飾り付けを行い、雰囲気を楽しんで頂けるよう環境作りに努めている。周りも自然に囲まれており、穏やかに過ごして頂ける環境である。リビングから見える花壇には季節にあった花を植えており、リビング内からでも見て楽しんで頂いている。	リビング内から窓越しにみられる山々の移り変わり、室内の壁面にも季節を感じさせる飾り付けや利用者の笑顔の写真、浴室前の暖簾やトイレ内にも手すりを設置するなど環境づくりに努めている。テーブルの高さや利用者に合ったイスが用意されていて、寛げる雰囲気作りがされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ご利用者一人ひとりにあったテーブル、イス、座席の位置に配慮している。又、空いた時間にはソファでゆっくり過ごして頂きテレビも見て頂けるよう居場所の確保を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご自宅で使われていた馴染みのある家具を持参頂き、少しでもご自宅での暮らしに近づけるよう努めており、ご家族との写真も壁に貼り、安心して過ごして頂けるよう工夫をしている。	居室は広く、ベットとエアコンが設置されている。利用者が自宅から好みの物や使い慣れた持物、調度品やソファが持ち込まれ、壁面には家族の写真が飾られるなど、落ち着いて生活ができるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ご本人ができることを最大限に活かし、一人ひとりにあった介助を統一して行えるようアセスメントを行ったうえで、その状態にあった援助方法をその場に応じて行っている。ご利用者が使いづらい物に関して検討をしたり、メンテナンスをしている。又、扉にトイレ等の表示をし、ご利用者にも分かりやすいよう工夫をしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい八本松

作成日 令和元年11月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	もっと多くの方に運営推進会議へ参加して頂く必要がある。	地域の方、ご家族、ご利用者の方々との交流の機会を引き続き設けることができ、又、参加者の増員を目指すため、参加しやすい環境を作る。	運営推進会議内で、この度、指導頂いた内容への取組みを提案し、参加者の方々の意見も取り入れていく。又、引き続き適宜日時調整を行い、欠席者を減らしていく。	一年を通し実施する。
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。